

三春町役場(新)庁舎建設通信

VOL.8



～ 役場庁舎新築工事のいろいろな情報をお知らせしております ～

工事の進捗状況のお知らせ

役場庁舎新築工事は、昨年7月の着工から1年4か月が経過しました。

現在、外部は、金属性の屋根材を葺く作業や外壁にタイルを貼り付けるなどの仕上げ工事が進んでいます。内部は、1階から順に耐火被覆、断熱吹付、間仕切壁設置、設備機器設置などが行われ、様々な業種の方が連日作業をしています。

R2.9.8 撮影



R2.11.6 撮影

新庁舎の耐震性能

役場新庁舎は、防災拠点・災害対策拠点として、大地震後も構造体に大きな補修をすることなく建物を使用できる耐震性能を有した建物です。その耐震性能を確保するための技術のひとつとして制震装置「レンズダンパー」を導入しています。

「レンズダンパー」は凹型レンズのような形状をした特殊な鋼材パネルを柱に設置することで地震エネルギーを吸収し建物への被害と揺れを抑えることができます。新庁舎では1階に7か所、2階に8か所、3階に4か所の計19か所に設置し、建物の耐震性能を向上させています。



↑ 柱への取り付け状況
グレーのものがレンズダンパー

拡大



↑ 正面

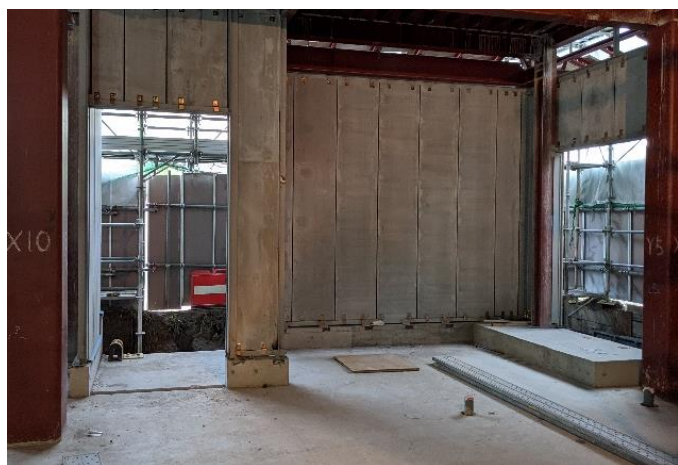


↑ 側面

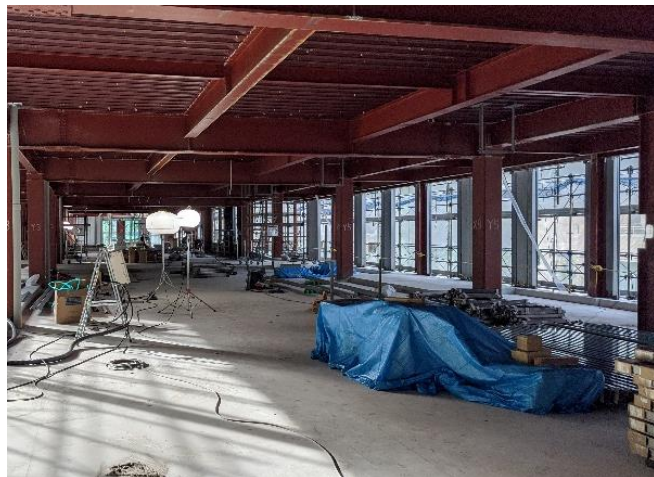
★ 工事状況写真を町ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。
QRコードによるアクセス ⇒



工事写真



2階「出入口（東側）」(R2.9.23 撮影)
外壁下地を設置しています



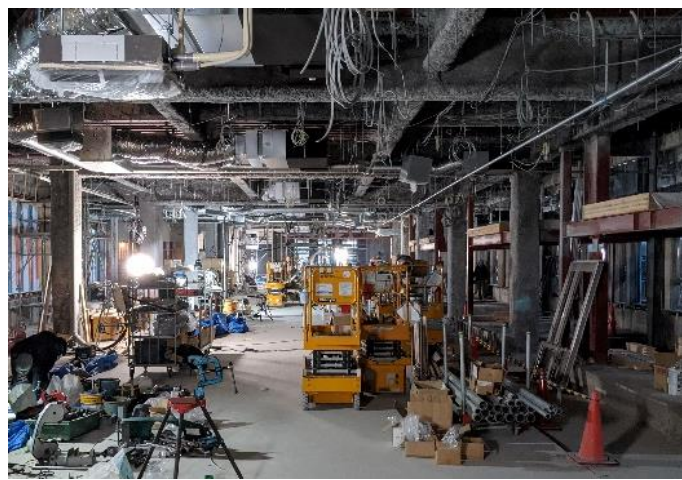
2階「執務室」(R2.9.23 撮影)
フロアに資材を仮置きし、工事をしています



1階「執務室」(R2.10.14 撮影)
鉄骨の耐火被覆を施工しました



屋上 (R2.10.28 撮影)
屋根材を設置しています



1階「執務室」(R2.10.28 撮影)
天井に設備機器が設置されました